

黒部を未来へつなぐ

市議会議員6年目!

市政のチェックはもとより、少しでも多く提案し、住みよい黒部市に尽力します。

ここで、ももクロライブ、黒部名水マラソン、シアターオリックス、女子バレー米国代表W杯事前合宿、アーチェリーインド代表五輪合宿等で大注目の本市を少しご紹介!

2019年魅力度ランキング (7-ランド総合研究所)

10月17日に発表した市町村別の魅力度調査で**本市が98位**と富山県唯一100位圏内にはいりました。認知度・魅力度・情報接触度・居留意欲度・観光意欲度・産品購入意欲度・産品想起率(食品・食品以外)の8項目で評価。ベスト3は函館市、札幌市、京都市。

2019年 全国住みよさランキング (東洋経済新報社)

「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」を人口当たりの病院・診療所の病床数、持ち家世帯比率など計22種類の指標データから算出。

黒部市は、安心度150位、利便度626位、快適度5位、富裕度35位



全国住みよさランキング

(東洋経済新報社より)

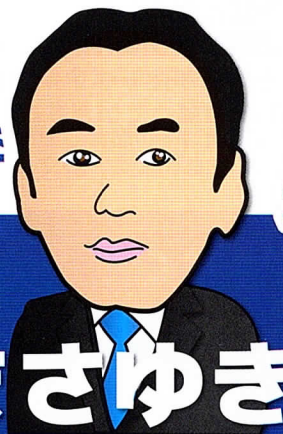
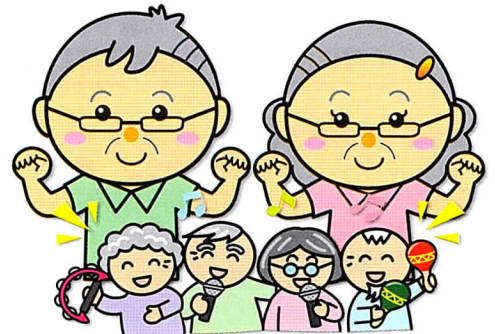
順位	自治体名	都道府県
1	白山市	石川県
2	文京区	東京都
3	野々市市	石川県
4	福井市	福井県
5	倉吉市	鳥取県
6	敦賀市	福井県
7	黒部市	富山県
8	能美市	石川県
9	魚津市	富山県
10	駒ヶ根市	長野県

県内市町村別平均寿命(歳)

2015年市区町村別生命表(厚労省5年に一回統計)

自治体名	男	女	自治体名	男	女
富山市	80.7	87.5	南砺市	81.3	87.5
高岡市	80.6	87.4	上市町	80.8	87.2
射水市	80.7	87.1	立山町	80.4	87.4
魚津市	80.0	87.5	入善町	80.6	87.4
氷見市	80.1	87.6	朝日町	80.2	87.0
滑川市	80.5	87.2	舟橋村	80.7	87.4
黒部市	80.3	87.8	県全体	80.6	87.4
砺波市	81.0	87.7			
小矢部市	80.6	87.7			

平均寿命が長いのは男性が南砺市、女性が黒部市。短いのは男性が魚津市、女性が朝日町。黒部市の男性も12位と低い。



黒部は今、分岐点! 先人の努力を次世代へつないでいきたい。



なりかわ

成川まさゆき

facebookで活動公開中!

【6月議会質問】

1. イベント成果と今後の進め方について

(問) イベント後の計画は

(答) 「ももクロ春の一大事」は、イベント効果が少しでも長く持続できるように。黒部名水マラソンは引き続き、更なる参加者の満足度向上を。



(問) 本市の知名度・注目度は

(答) 市 HP は、「ももクロ春の一大事 2019in 黒部市」が開催された本年4月の閲覧件数 69,459 件で昨年同月 52,230 件から大幅増。

「市ふるさとサポート寄付」においては、「モノノフ (ももクロファン)」の皆様から開催決定の昨年8月以降 24 件あり、今年度5月まで

の累計では 68 件と、昨年同月 39 件から大幅増。さらには、「カーター記念黒部名水マラソン」に対するランナーの皆様からの高評価で本市の知名度、注目度はともに向上しているものと推察している。

(問) シティプロモーション推進計画の策定を

(答) 推進計画は、有用と考えているが、まずは本市の各種計画との整合性や先進地事例等の調査、研究を行ったうえで、策定等について検討する。

(問) 第9回シアターオリムピクス開催機運を

(答) 関係団体や関係機関と連携しながら、積極的に周知し、盛り上げていきたい。

(問) トップセールスの考えは

(答) 黒部市=「黒部ダム」のイメージであり、本市の位置も正しく理解されていない方が多い。市長自ら、市民・職員の手本となり、トップセールスを積極的に取り組んでいきたい。

【まさゆきの視点】

本市の注目度が上昇しています。その時にこそ、積極的に PR をしていく必要があると思っています。黒部の良さを広く告知することで人口良さを広く告知することで人口減少対策に繋がります。



2. 防災・減災について

(問) 相互応援協定の今後の予定等と締結後の動きは

(答) 今後も必要に応じて提携関係を広げ、締結後は各種情報の交換を行うほか、市総合防災訓練に参加いただき、応急対策活動等の訓練を実施している。



(問) 訓練方法や今後の防災力向上に向けた取り組み

(答) さまざまなニーズに沿った訓練を進め、「公助」「自助」「共助」、特に「共助」の中心的役割を担う各地区自主防災組織や消防団との更なる連携・協調を図りつつ、「自助」の考え方が広く浸透するように努める。

(問) ジオパーク教育に防災の視点を入れて市民が学ぶ機会を作っただけか

(答) 立山黒部ジオパーク協会の協力を得ながら、防災の視点を取り入れたジオパーク教育の推進に努める。

(問) 福祉避難所の整備状況と避難訓練などの実施予定は

(答) 現在、協定書を締結しているのは、6 施設で概ね 100 人程度の受け入れが可能だが、今後、漸次増やして行くよう努める。福祉避難所の避難訓練は未実施であり、今後、各福祉施設の現状を踏まえて同意を得た上で、実施する方向で検討する。

【まさゆきの視点】

災害時こそ、地域力が試されます。日頃からの備えと、忘れないように常に考えることも大事だと思います。

3. 誰もが安心して暮らせる地域にするための整備について

(問) 今後の福祉部門の人員体制について

(答) 連携をしながら業務を進めている。今後も、多様な担い手の育成と参画等を推進し、対応していきたい。



(問) 社会福祉協議会との連携強化

(答) 地域資源の発掘や調査、掌握について、地域に密着して活動している市社会福祉協議会の役割は、市にとって必要不可欠なものであり、今後とも、より密接に連携して事業を進めていきたい。

(問) 地域包括支援センターのエリアを中学校区と同じにできないか

(答) 当分、エリア変更は考えていない。

題やニーズ調査を行い、整備方策について検討している。

【まさゆきの視点】

福祉課題の多様化で、困っている方が増加し、手を差し伸べることが出来なくなると予想されます。少数精鋭で取り組んでいく必要があり、今までの人員体制、制度、そして連携も含めた役割分担など、現在のやり方が本当に良いのかを検証することも必要だと考えます。

全国には成功事例がいっぱいあります。参考にしながら誰もが住みやすくなる黒部モデルを作ってほしいと願っています。



(問) 障がい者に住居支援を

(答) 障がいのある方を持つ家族からは、親亡き後の生活を不安に思う声が多く寄せられているほか、市内の障がい者団体からもグループホームの整備について要望を受けている。今後も引き続き福祉人材の確保・育成を推進するとともに、サービス提供事業所への協力依頼と必要な支援を行いながら、グループホームの充実に努める。

(問) 保険・医療・福祉関係者による協議の場整備の進捗状況は

(答) 平成 30 年度に、「新川地域自立支援協議会」の精神部会において、地域包括ケアシステム構築に向けた協議の場を開設した。

(問) 障がい者の地域生活を支援する機能集約拠点等の整備を

(答) 現在、新川地域自立支援協議会の相談部会を中心に関係機関の課



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会
連絡先

成川正幸 (なりかわ まさゆき) TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com



【9月議会質問】

1. 住み慣れた地域で安心して生活が出来る社会の実現について

(問) 成年後見制度の現状と今後は

(答) 大部分が親族の支援と認識している。今後は、制度の理解促進と申立ての支援、利用者増で不足が見込まれる後見人等の受任者の育成が重要になってくるものと考えている。

令和元年7月時点	成年後見制度	日常生活自立支援事業	合計
利用者数	30人	24人	54人

(問) 成年後見制度の理解促進を

(答) ケアマネージャーなどの専門職による制度の周知、障がい者団体等からの要望があれば研修会等に講師を派遣することなども検討し、

組んでいく。

【まさゆきの視点】

すべての人が安心して生活が出来る社会の実現。生まれてよかった、住んで良かったと思えるような地域にするためには、データを基に未来につなぐ制度づくりが必要だと思います。

2. (移住定住・交流・関係) 人口増加策について

(問) 積極的に情報発信を

(答) 情報発信の内容や頻度等について更に検討する。

(問) 空き家情報バンク利用促進を

(答) 平成 27 年度から制度の運用を開始。

目的	若年世帯及び子育て世帯の移住定住促進。同世帯が借りる賃貸住宅の家賃の一部を補助する制度
対象	40歳未満の若年単身世帯又は夫婦のどちらかが40歳未満の若年夫婦世帯、小学生以下の子どもがいる世帯で、市外からの転入者又は市内の居住誘導区域外から区域内に転居した世帯
補助期間	24か月
補助金額	月額5千円から1万5千円
利用件数	3件(8月末現在)

(問) とやまUターンガイド利用促進を

(答) 今後、市内事業所に対して、県外在住者を視野に入れた人材確保に取り組んでいただき、少しでも多くマッチングできるよう関係機関と連携を図りながら働きかけていく。

(問) 戦略Kに関係人口の導入を

(答) どのような形で盛り込むべきか十分に検討する。

(問) 小規模多機能自治の研究を

(答) 新たな取り組み手法であると認識しており、本市における必要性や妥当性など研究する。

(問) 市民一人ひとりが輝く市民一体となったまちづくりについて、市長の思いは

(答) 知名度、魅力度は向上しているものと推察している。この知名度、魅力度の向上は、協働のまちづくりの展開が必要不可欠であると考えている。黒部市総合振興計画に掲げる「市民の参画と協働のまちづくり」の基本理念は、しっかりと市民の皆様の中に醸成されつつある。今後とも「大自然のシンフォニー文化・交流のまち 黒部」の実現に向け

制度の理解促進に努める。

(問) いじめ認知件数は

(答) 本市においても増加傾向にあり、早期発見、早期対応が確実に進められるように指導する。

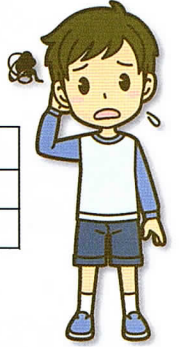
平成30年度	認知件数	いじめ解消数
小学校	43件	31件
中学校	8件	6件

(問) 「子ども権利条例」の制定を

(答) 条例制定の可能性について検討する。

(問) 日中独居の高齢者への支援は

(答) 地域社会との関わりを持てるよう、生きがいづくり推進に取り



※昨年度、居住誘導区域内の空き家に対する補助制度を拡充し、今年4月に空き家の利活用を掲載したチラシを固定資産税の納税通知書に同封し、周知した。来年度、空き家の利活用について所有者に対し意向調査を行う。

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年8月末まで
登録件数	1件	10件	13件	22件	12件
情報バンク 件数	登録数 58件	契約成立数 36件	現在 HP 公開数 22件		

(問) 黒部市移住促進賃貸住宅居住支援補助金の現在の状況は

(答) 市ホームページやチラシなどを利用して補助制度のPRを行うとともに、不動産業者に対しても積極的に周知し、利用促進を図っていく。(8月末現在3件)

現在の市内事業所登録数	求人者数	市内有効求人倍率(7月期)
17事業所 36件	約60人	2.86倍

(問) 本市の関係人口の考えは

(答) 関係人口の創出・拡大は、まさに地域活力の維持や活性化につながり、さらには将来的な移住候補者を確保する可能性のある取り組みであると考えており、今後も本市の魅力や強みを活かした様々な施策を広くPRし、関係人口の創出・拡大につなげていく。

(問) 転勤者を黒部ファンに

(答) 現在のところ、本市から転出された方々との関係性を維持する具体的な取り組みは行っていない。どのような取り組みが可能か、どうすれば効果が生まれ成果として結びつくのか検討する。

と取り組んでいく。

【まさゆきの視点】

情報が飛び交っている時代において、いかに必要としている人に情報を届けるかが重要。また、今までの常識が通用しない時代にもなっており、固定観念を払しょくし、時代にあった体制づくりが必要となってきていると考えます。

良いものを守るためには、変わっていかねばいけません。



なりかわ 黒部市議会議員
成川まさゆき



facebookで
活動公開中!



平成30年度決算（認定第1号から認定第11号）

令和元年9月定例会において決算特別委員会が設置され審査の上、賛成多数で可決。

○一般・特別会計（単位：千円）

区分	歳入	歳出	実質収支
一般会計	21,570,722	20,805,394	623,732
特別会計	5,498,125	5,372,072	125,977

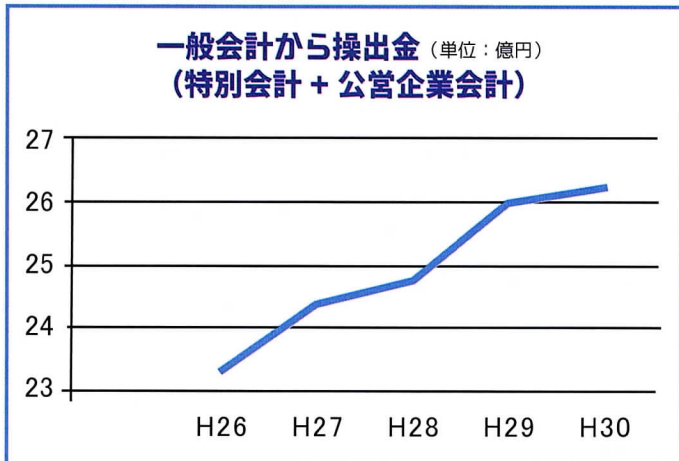
※特別会計：国保、後期高齢者医療、発電、簡易水道、牧場、フィッシャリーナ、地域揮発

○公営企業会計（単位：千円）

事業名	総収益	総費用	差引
病院事業	11,020,063	11,590,242	-570,179
水道事業	340,067	335,244	4,823
下水道事業	1,770,882	1,750,316	20,566

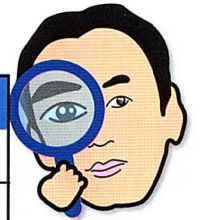
※病院事業の赤字は、増改築事業の減価償却費を計上した影響

○一般会計からの操出金



○H30 市債現在高（単位：千円）

区分	金額
一般会計	30,851,792
（うち臨時財政対策債）	（10,123,019）
特別会計	2,228,347
合計	33,080,139

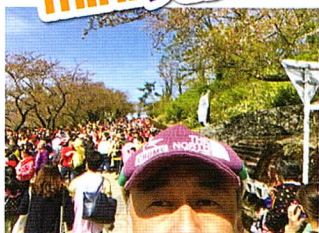


○H30 基金現在高（単位：千円）

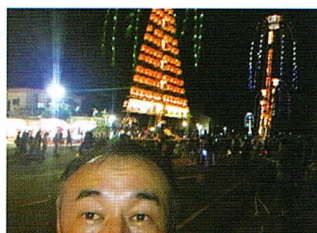
区分	金額
財政調整基金	1,344,922
財政調整基金（有価証券）	200,000
減債基金	536,866
その他基金（13基金）	1,914,768
小計	3,996,556
特別会計基金（基金）	440,294
合計	4,436,850

委員会では、一般会計から特別会計への操出金。市債残高、財政調整基金などの借金と貯金の残高などが注目されました。今後、人口減少・少子高齢化の進展による経済の縮小での歳入減少。第1次総合振興計画に基づいた大型建設事業における公債費の償還や公共施設・インフラの老朽化対策などでの歳出増加で、本市における財政状況は厳しくなってくるものと予想されます。

まさゆき mini 見聞録



ももクロ春の一大イベント in 黒部



魚津市たてもん協力隊で伝承を学ぶ



西予市「ジカ」りと防災施策



射水市 富山型デイふらっと「アゲテッ



大津市 議員研修会（社会保障）

KENBUNROKU

なりかわ facebook で活動公開中！
成川まさゆき



なりかわ
成川まさゆき後援会

〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7
TEL & FAX (0765) 57-1189
Mail/masa.narikawa@gmail.com